

能登半島地震災害支援対策委員会 ニュース 第3号

2024年4月26日発行

発行所 日本ホーリネス教団能登半島地震災害支援対策委員会
発行人 佐藤 義則 編集人 竹内 義晴
〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1
TEL 042-394-7466 FAX 042-392-2877

ボランティアの受入・派遣 に向けて準備中です!

4月21日に、第三回の能登半島地震災害支援対策委員会を開催いたしました。

山田緊急支援対策室長が、4月17日(水)～19日(金)の3日間、関係団体の会議と現地視察のために、再度、現地を訪れました。

まずは、ボランティアの必要性、受入れ態勢の準備状況を中心にご報告いただきました。



輪島市街地

◎ボランティアなどの支援活動について

ボランティアのニーズは非常に高いが集まっていないという状況ですが、一方で、チームリーダーが不足しています。また、ボランティア活動のベースを能都聖書教会や門前聖書教会近くに設置または設置計画ですが、まだ準備途上という状況です。寝具、食事、風呂などはチームで自己調達となります。

そうした状況を受けて、CRASH-Japanとの連携も含めてボランティア派遣についての検討を続けています。もうしばらくお待ちください。

◎災害支援献金について

「災害支援献金」については、4月22日現在で、7,162,134円が献げられています。前回報告しましたように100万円を能登へルプへ献金しました。

第2段として、珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、志賀町の5つの自治体の社会福祉協議会へ100万円(5×20万円)、各個教会へ100万円(詳細は各教会の状況を確認中)、CRASH-JapanとJEA(日本福音同盟)へ各10万円の献金を行うことを決めました。

残金は、ボランティア派遣の費用とさらに必要とされるところへの追加の献金としてプールしています。

引き続き、被災者のために祈ってゆきたいと思います。

◎災害支援献金の送金先

(郵便振替)
00190-4-545635
(口座名)
日本ホーリネス教団緊急支援対策室

なお、ささげられた献金の5%を、今後の災害支援のために「緊急支援基金」に繰り入れさせていただきます。



(上左)羽咋ベース (男性用)



(上右)能都聖書教会:複数のキャビン保有 (男女ベース)

(下左)門前聖書教会

(近くにプレハブ設置を計画中)

(下右)倒壊した日本基督教団
輪島教会



※写真は

山田先生撮影